

(別紙様式) 令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		新見高等学校南校地		
実践者等		岡 利英	実践日	令和4年9月26日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		理科・物理基礎(力の合成・分解)		
対象生徒(学年等)		1年3組		
育成を目指す資質・能力		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input checked="" type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化		
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用		
		<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化や省力化		
	家庭学習	<input type="checkbox"/> その他()		
実践の内容				
<p>【出張時にオンデマンドでの自学自習として実施】 教員出張時にも生徒の学びを止めないために、授業動画を視聴しながら自学自習を課すことにした。</p> <p>動画撮影に際して以下の2つの方式を検討した。</p> <p>① iPad上でプリントデータに書き込む様子を画面録画しながら、説明をアテレコする。 ② 通常の授業のように黒板に板書しながら説明の様子を撮影する。</p> <p>扱う單元において、作図が大きなウェイトを占めていることから①の方法は馴染まないと判断し、②を採用した。</p> <p>45分×1本の動画ではなく、内容を分割し10分×3本の動画を作成した(余りの15分は演習を想定している)。これには以下の2つの理由がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生徒が見返すときに、見たい箇所を探しやすい。 ✓ 動画のアップロードにかかる時間が短い。 <p>動画は、該当クラスの物理基礎 Classroomの「資料」にアップロードした。ただし、アップロードが終わってもクラウド上では処理が続き視聴できるまでに時間がかかることがあるので、用心して出張日の2日前に作業を行った。</p> <p>また、自学自習の進め方については Classroomに書き込むとともに、当該クラスの黒板にも板書した。また、何らかのトラブルで動画が視聴できない場合に備えて、自習用課題プリントも用意した。</p> <p>比較的易しい内容だったためか殆どの生徒がこなせているようだったことから、最低限度のフォローを復習として行った。</p>				
<p>【反省】</p> <p>✓ 今回生徒は一人で視聴しながら学習を進める形をとったが、ペアや班あるいはクラス全体で視聴しながら協働的に学ぶことも可能である。扱う内容と形式の親和性も検討し、最も効果的と考えられる形で実施すべきであった。</p>				
<p>【本時と家庭学習との連動】 (実施なし)</p>				